

証券コード:3360



「生命を守る人の環境づくり」を、
これからも。

第20期 中間報告 株主通信

2011年4月1日 ▶ 2011年9月30日



SHIP HEALTHCARE HOLDINGS

シップヘルスケアホールディングス株式会社

トップインタビュー

— Top Interview



代表取締役社長

古川 國久

グループ理念

S. H. I. P.

Sincere + Humanity + Innovation + PartnerSHIP
(誠実な心) (「情」の心) (革新者の気概) (パートナーシップ精神)

「生命を守る人の環境づくり」を、これからも。
シップヘルスケアグループはいつもYour Companyです。

2011年度スローガン

Communications Gap 0(ゼロ)!!

『進化』と『成長』はとまらない

グループ力の結集を通じて、コア事業の深耕と新たな

経営環境について

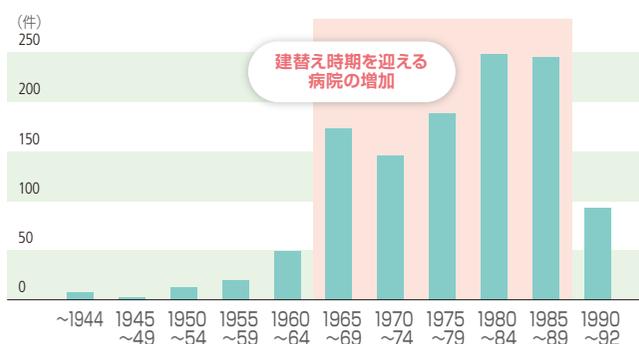
競争環境は厳しくなるものの、 ヘルスケアエンジニアリングへのニーズは高まる

当第2四半期における日本経済は、東日本大震災の影響、タイ国の大洪水によるサプライチェーンの停滞、そして円高など様々な面で、経済・産業の根幹が揺らぎ、先行不透明感が強まってきております。

こうした中、当社グループが属する医療業界におきましては、東日本大震災の被害により、一時期、医療機関の機能が滞ったことで、最悪の事態に備えた地域医療、病院インフラのあり方や医療制度そのものに至るまで、多方面で課題が浮き彫りになりました。

一方、国内人口の高齢化に伴い、医療の効率化が期待される中で、1970～80年代に大量に建設された大規模病院が建替え時期を迎えるなど、ヘルスケアエンジニアリングへの期待は高まっております。当社グループはこの分野の市場を独自に創造してきた強みを活かして、よりよい医療機関の整備に貢献してまいります。

■ 建築年別から見る建替え市場（一般病院）



出典：中央社会保険医療協議会「医療経済実態調査(医療機関調査)」(平成5年6月) 調査対象病院数1,196病院

業績について

連結子会社それぞれが 堅調に業績を拡大

当第2四半期の業績につきましては、国の財政再建などを背景に、医療業界は厳しい環境が続いてはいるものの、2010年度の診療報酬プラス設定により経営環境が改善してきている医療機関の底強い投資意欲に支えられ、当社グループ各社とも堅調に推移いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、当初予想比8.2%増(前年同期比11.9%増)の811億16百万円を達成しました。主な要因といたしましては、大型プロジェクト案件の計上、医療設備メーカー・調剤薬局事業の業績が好調に推移したことなどがあげられます。

また、利益面においては、売上高の拡大に伴い、営業利益、経常利益、四半期純利益とも当初予想を大幅に上回りました。

■ 業績結果

(単位：百万円)

	当初予想 (2011年5月9日発表)	2011/9実績 (当第2四半期)	増減率
売上高	75,000	81,116	8.2% ↑
営業利益	2,900	4,315	48.8% ↑
経常利益	3,300	4,936	49.6% ↑
四半期純利益	1,800	3,007	67.1% ↑

分野を開拓し、トップランナーとしての位置付けをより一層固めてまいります。

今後の経営方針について

コーポレート・ガバナンスの強化とスピード経営の実践、 次なるステージに向けたグループ体制の整備へ

当社グループは、激変する医療業界において、創業以来、継続して業容を拡大してまいりました。この間、59社の設立・M&Aを実施すると同時に、その状況におけるグループ事業のあり方に合わせ、22社の整理統合を行い、グループ全体としての最適化を図ってまいりました。

また、持株会社体制移行後においては、当社、グリーンホスピタルサプライ(株)、(株)セントラルユニの3社を中心とした管理体制をとってまいりました。今、医療業界が、病院経営のあり方、地域医療のあり方、TPPをはじめとするグローバル化など、より大きく変化中、このような状況に対応する次なるステージに向けたグループ体制の整備が急務となっております。

■ 新体制に向けた課題

- ガバナンス体制・連携の強化
- スピードのさらなる加速
- 業務レベルのアップ
- IT投資
- グループ教育

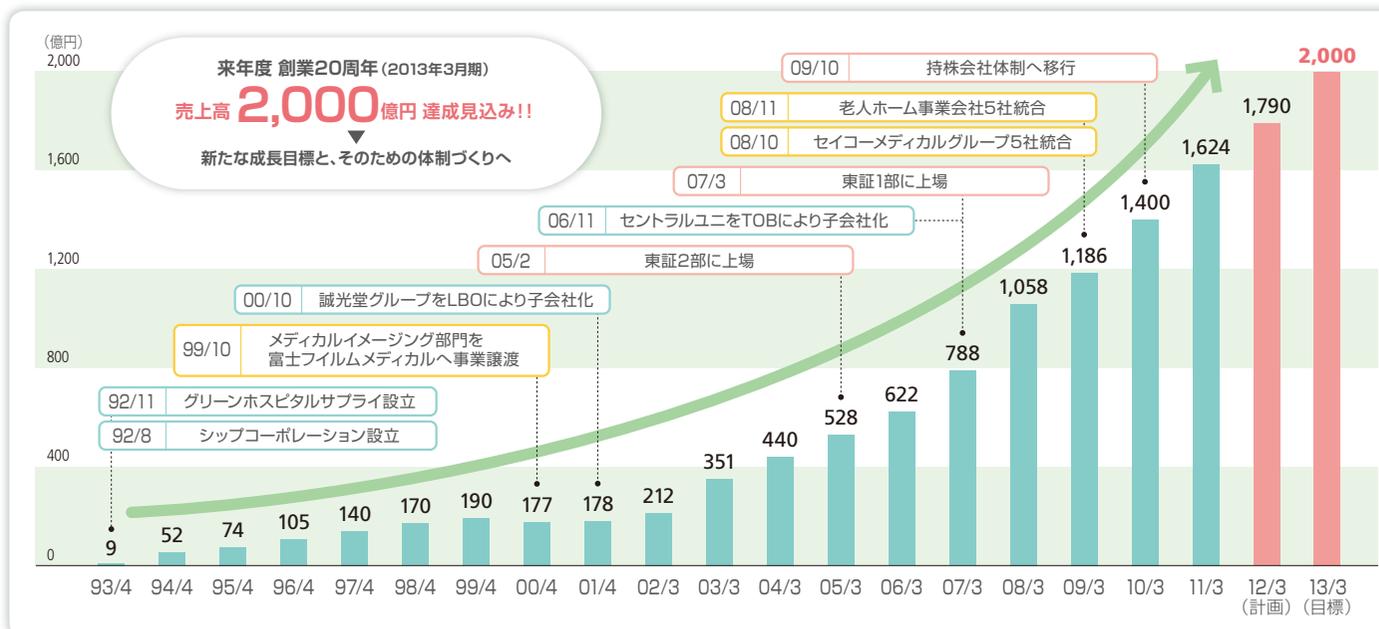
当社グループ事業の基本は、医療機関との強い信頼関係に基づくパートナーシップの上に成り立っております。この基本的精神に則り、医療機関をはじめとする各ステークホルダーとの信頼関係を高めるガバナンスの強化と変化する市場に一早く応えるスピード経営の両立に向けてグループ体制の再編に取り組んでまいります。

新しい取組みについて

2013年3月期、売上高2,000億円を目指し、 新たな取組みを加速

好評をいただいているグループショールームを本年11月9日に、“マッシュアップスタジオ”としてリニューアルオープンしております。また、来年1月に新ロジセンター「みどり」が稼働する予定です。さらに、介護関連市場においては、小規模多機能施設を千葉県で企画するなど、当社グループは、2013年3月期売上高2,000億円の達成に向けて、既存市場の深耕と新しい取組みを加速させております。

■ 事業再編の主な軌跡と売上高推移



トピックス

— Topics

当社の連結子会社 山田医療照明株式会社が GOOD DESIGN 金賞を受賞



授賞式風景

4つの特徴

- 照度設定
- 気流の確保(無菌効果)
- 薄型デザイン(軽量化)
- 高いコストパフォーマンス

この度、当社グループ会社の山田医療照明(株)が開発いたしました、手術用照明器「SKYLUX CRYSTAL(スカイルックス クリスタル)」が2011年度グッドデザイン金賞を受賞いたしました。

グッドデザイン賞は、財団法人日本産業デザイン振興会の主催で、1年に1度、新しさや高度さ、価値観の創造や社会貢献など、幅広い意味で優れた“デザイン”に贈られる賞です。この中でも金賞は数多い応募の中から10数点選ばれるもので、特に評価の高い“デザイン”が受賞します。今回、山田医療照明(株)が開発した手術用照明器「SKYLUX CRYSTAL」は、従来光源とされてきたハロゲン灯をLED光源に置き換え、光源から発生

する熱を大幅に抑制し、術者の身体的負担を軽減いたしました。また、灯部を多灯式としたことにより、患者への圧迫感を取り除くと同時に、気流を確保し、術部の無菌状態をより高度に保つことなどを達成したことが評価され、金賞受賞に結びつきました。

当社グループでは、今後もより現場の質の向上につながる機器・製品の開発に努め、「生命を守る人の環境づくり」を進めてまいります。

パワーアップしてリニューアル SHIPショールーム

医療機関関係者に好評をいただいているSHIPショールームが11月9日にさらにスケールアップ、旧SSCを「Mashup Studio(マッシュアップスタジオ)」としてリニューアルオープンいたしました。

オープン以来、多くの医療機関関係者を迎え入れ、好評をいただいておりますSHIPショールームがこの度、当社グループの最先端技術をもとにリニューアルオープンいたしました。その目玉は、新しく4階に設置された「サイバーシミュレーション」。このフロアでは、来場者の要望に合わせた手術室のレイアウト、機器などを映し出し、施工後のイメージを掴んでもらうことが可能となっております。5階の「リアルシミュレーション」と合わせ旧SSCを超えた提案を行ってまいります。

また、1、2階では最新のリハビリ機器、特殊浴槽を展示する酒井医療(株)のショールームをブラッシュアップ。SHIPショールームは、パワーアップして来場者の方々のニーズに応えてまいります。

SHIPショールームの概要





日経IRフェア2011に出展

個人投資家の皆さまとお会いする機会を積極的ににつくっていくために「日経IRフェア2011」に参加いたしました。

当社は、個人投資家の皆さまへのIR活動の強化の一環として、2011年8月26・27日に東京ビッグサイトで開催されました「日経IRフェア2011」に参加いたしました。展示ブース、会社説明会ともに、大勢の皆さまに来場していただき、当社社長 古川の説明など、多くの方々に興味を持っていただきました。また、会場で行われたアンケートでは、半数以上の方より「株式の新規購入(買い増し)をしたい」との回答をいただき、新規層のご理解をいただくことができました。ご来場いただきました皆さま、大変ありがとうございました。



株主アンケート集計結果

— Questionnaire

アンケートへのご協力ありがとうございました。

第19期株主通信において株主の皆さまへのアンケートを実施いたしました結果、533名の方々よりご回答を頂戴いたしました(2011年9月30日現在)。ご協力を心より感謝申し上げます。

集計結果や株主の皆さまのお声の一部を、ここにご紹介いたします。

■ 当社株式の今後の保有方針をお教えてください。

(複数回答あり)



■ 当社経営に関して、何を重視すべきと思われますか?

(上位3点選択)



その他様々なご意見の一部

- ヘルスケア産業はますます重要になってくるので、大いなる社会貢献を期待しております。
- 業界のリーディングカンパニーとして、次なる成長を目指して下さい。
- 収益性を追求しながらもコンプライアンス重視を。
- 今の時代にマッチした事業なので、慎重かつ大胆に経営を行って欲しい。
- 各事業の発展性、安定性を考慮し、ビジネスモデルの再構築、再配分をして欲しい。

今回のアンケートにおきましても、株主の皆さまより多くのご意見・ご要望を頂戴いたしました。今後もシップヘルスケアグループへのご理解をより一層深めていただけますようIR活動にも積極的に努めてまいります。アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。

連結財務諸表

— Consolidated Financial Statements

連結貸借対照表

	当第2四半期 2011年9月30日現在	前第2四半期 2010年9月30日現在	前 期 2011年3月31日現在
【資産の部】			
流動資産	64,007	66,839	79,294
現金及び預金	16,887	14,464	22,767
受取手形及び売掛金	32,668	37,914	41,688
商品及び製品	6,380	6,056	5,858
仕掛品	1,624	1,424	1,284
その他	6,587	7,248	7,833
貸倒引当金	△ 141	△ 268	△ 138
固定資産	37,884	36,173	37,527
有形固定資産	24,684	23,291	23,097
建物及び構築物(純額)	6,642	6,994	6,818
土地	7,812	5,822	5,892
賃貸不動産(純額)	9,094	9,135	9,066
その他(純額)	1,135	1,339	1,319
無形固定資産	1,495	971	1,558
投資その他の資産	11,705	11,910	12,872
資産合計	101,891	103,013	116,822

	当第2四半期 2011年9月30日現在	前第2四半期 2010年9月30日現在	前 期 2011年3月31日現在
【負債の部】			
流動負債	49,020	51,894	60,721
支払手形及び買掛金	35,361	33,420	42,604
短期借入金	1,760	6,176	2,600
未払法人税等	1,413	762	1,585
賞与引当金	1,063	1,000	1,012
その他	9,421	10,535	12,919
固定負債	21,757	24,158	26,065
社債	3,480	3,664	3,942
長期借入金	15,250	17,848	18,461
退職給付引当金	1,693	1,411	1,703
その他	1,333	1,234	1,957
負債合計	70,777	76,053	86,787
【純資産の部】			
株主資本	30,333	25,902	28,522
資本金	5,667	5,667	5,667
資本剰余金	10,036	10,036	10,036
利益剰余金	14,630	10,200	12,819
自己株式	△ 1	△ 1	△ 1
その他の包括利益累計額	354	735	1,147
その他有価証券評価差額金	374	749	1,160
為替換算調整勘定	△ 19	△ 13	△ 12
少数株主持分	426	322	365
純資産合計	31,114	26,960	30,035
負債純資産合計	101,891	103,013	116,822

(単位：百万円)

連結損益計算書

	当第2四半期 2011年4月 1日～ 2011年9月30日	前第2四半期 2010年4月 1日～ 2010年9月30日	前 期 2010年4月 1日～ 2011年3月31日
売上高	81,116	72,505	162,432
売上原価	69,239	62,179	139,262
売上総利益	11,877	10,326	23,170
販売費及び一般管理費	7,561	7,062	15,314
営業利益	4,315	3,264	7,856
営業外収益	865	952	1,644
営業外費用	244	335	650
経常利益	4,936	3,880	8,850
特別利益	86	57	389
特別損失	64	165	1,100
税金等調整前四半期(当期)純利益	4,958	3,772	8,139
法人税、住民税及び事業税	1,611	857	2,474
法人税等調整額	264	△ 456	△ 400
少数株主損益調整前四半期(当期)純利益	3,082	3,371	6,065
少数株主利益	74	60	134
四半期(当期)純利益	3,007	3,311	5,931

(単位：百万円)

連結キャッシュ・フロー計算書

	当第2四半期 2011年4月 1日～ 2011年9月30日	前第2四半期 2010年4月 1日～ 2010年9月30日	前 期 2010年4月 1日～ 2011年3月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	5,972	6,056	16,818
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 3,416	△ 228	△ 551
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 8,480	△ 2,980	△ 5,105
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 10	△ 5	△ 5
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△ 5,935	2,841	11,155
現金及び現金同等物の 期首残高	21,750	10,485	10,485
連結の範囲の変更に伴う現金及び 現金同等物の増減額(△は減少)	—	108	108
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	15,814	13,435	21,750

(単位：百万円)

業績の概要

— Outline of Business Results

主な経営指標の推移[日本基準](連結)

(単位: 百万円)

	2009/3	2010/3	2010/9	2011/3	2011/9 当第2四半期	2012/3 (通期予想)
売上高	118,604	140,009	72,505	162,432	81,116	179,000
営業利益	3,625	5,700	3,264	7,856	4,315	8,200
経常利益	3,761	6,142	3,880	8,850	4,936	9,000
四半期(当期)純利益	2,053	3,154	3,311	5,931	3,007	5,950
総資産	101,573	114,619	103,013	116,822	101,891	—
純資産	23,534	24,509	26,960	30,035	31,114	—

セグメント情報 (2011年4月1日~2011年9月30日)

トータルパックシステム事業

トータルパックシステム事業におきましては、大型のプロジェクト案件が早期に計上できたこと、既存得意先への医療機器等の販売やメーカー系子会社の介護用浴槽の販売、手術室の施工受注が積み上がったこと等により順調に推移いたしました。

この結果、売上高は26,545百万円(前年同期比9.6%増)、営業利益は2,353百万円(同23.2%増)となりました。

メディカルサプライ事業

メディカルサプライ事業におきましては、医療機器・診療材料の販売数量増加と効率化を推し進めたことで、売上高、利益率が改善いたしました。また、昨年10月より連結した(株)札幌メディカルコーポレーションの業績が寄与いたしました。

この結果、売上高は42,990百万円(前年同期比14.3%増)、営業利益は872百万円(同22.6%増)となりました。

ヘルスケア事業

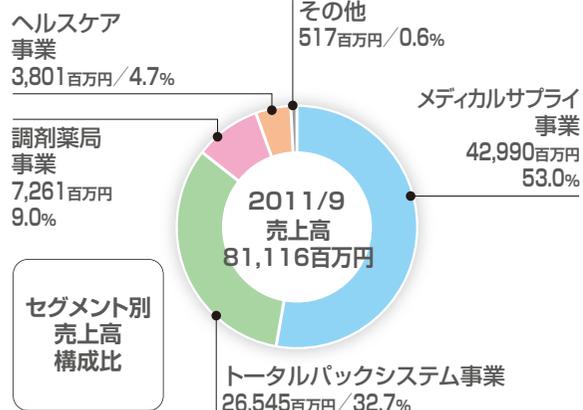
ヘルスケア事業におきましては、介護付有料老人ホーム運営事業における入居者が稼働率約92%である1,200名前後で安定的に推移するとともに、運営の効率化を図りました。また、食事提供サービス事業におきましても一部契約が終了した一方で、病院や老人ホームを中心に新たな契約先を獲得いたしました。

この結果、売上高は3,801百万円(前年同期比0.6%減)、営業利益は567百万円(同23.8%増)となりました。

調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、ジェネリック医薬品や調剤技術料の加算獲得に注力するとともに、運営の効率化を図りました。また、新規に3店舗を出店いたしました。なお、(株)仙台調剤において震災の影響により前期算入されなかった3月分の業績を加味しております。

この結果、売上高は7,261百万円(前年同期比14.0%増)、営業利益は784百万円(同50.8%増)となりました。



その他

その他におきましては、動物病院事業が順調に推移いたしました。また、理化学機器の販売も計画どおり進捗し、利益率も改善いたしました。

この結果、売上高は517百万円(前年同期比8.9%増)、営業利益は75百万円(同24.7%増)となりました。

業績予想について

— Earning Forecast

2012年3月期の通期予想について

わが国経済は、欧州の金融不安や米国の景気後退懸念を背景とした円高・株安などの進行により、依然として先行の不透明感が漂っております。こうした中で、当社グループが属する医療業界におきましては、診療報酬の増額改定があったものの依然として厳しい状況が続く中、第2四半期の業績は期初予想を大幅に超えることができました。通期予想につきましては、当第2四半期の好調さを持続させ、通期計画達成に努めてまいります。

(2011年5月9日発表数値)

売上高 既存得意先における機器更新需要が引き続き旺盛であることに加え、メディカルサプライ事業の販売数量が拡大していることなどから、前年通期実績比10.2%増の1,790億円を予想

営業利益 売上高の増加及びメディカルサプライ事業の利益率向上やヘルスケア事業、調剤薬局事業が計画通りに推移していることなどから、前年通期実績比4.4%増の82億円を予想

当期純利益 売上高の増加、利益率の向上などがあるものの、前年通期に比べ昨年度のような事業再編等の特殊要因が想定されないため、前年通期実績比0.3%増の59.5億円を予想

2013年3月期売上高2,000億円の目標について

当社は、2013年3月期に売上高2,000億円の達成を目指しております。この達成については、当社グループの属する医療業界において年率約3%程度の成長が見込まれていることを背景に、個々の事業における基盤整備とスケール拡大、さらに、グループ間のシナジー効果をもとに達成を目指してまいります。

- トータルパックシステム事業** ヘルスケアエンジニアリング力の拡充とグループ各社間の情報共有の推進
- メディカルサプライ事業** 新ロジセンターの稼働、ボリュームの拡大及び運営の効率化を推進
- ヘルスケア事業** 既存施設の入居率の維持・拡大及び小規模多機能施設などの新たな展開を加速
- 調剤薬局事業** 医療機関とのパートナーシップのもと、着実な展開を推進

※上記の業績予想は、当社グループが2011年11月7日時点で把握可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

会社情報

(2011年9月30日現在)

会社概要

商号 シップヘルスケアホールディングス株式会社
 設立 1992年8月
 代表取締役社長 古川 國久
 資本金 56億6,708万円
 決算月 3月
 従業員数 連結 2,305名
 本社所在地 〒565-0853
 大阪府吹田市春日3丁目20番8号
 TEL : 06-6369-0130
 FAX : 06-6369-3191

役員

代表取締役社長	古川 國久
専務取締役	増田 健順
専務取締役	小川 宏隆
取締役	大橋 太一
取締役	沖本 浩一
取締役	小林 宏行
取締役	横山 裕司
取締役	細川 賢治
社外取締役(独立役員)	和田 義昭
常勤監査役	前田 亮昌
非常勤監査役	竹原 昌也
社外監査役	水野 博康
社外監査役	大山 博康

当社ホームページのご紹介



HOME (左) …… <http://www.shiphd.co.jp>
 IRトップ (右) … <http://www.shiphd.co.jp/ir/index.html>
 今後も株主の皆さまをはじめ、より多くの方に当社ならびにシップヘルスケアグループに関するご理解とご関心をお持ちいただけるよう、様々な情報を分かりやすく、そして迅速に掲載してまいります。

株式関連情報

(2011年9月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数…………… 64,000千株
 発行済株式総数…………… 41,259千株
 株主数…………… 4,891名

株式分布状況

株式分布状況 (株主数別)



株式分布状況 (株式数別)



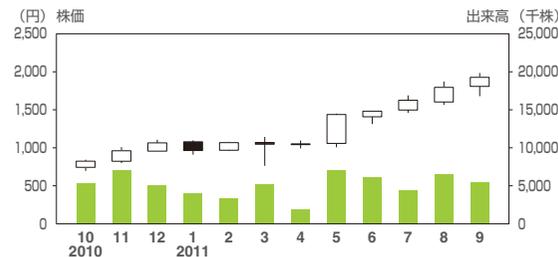
※ 株式数は、千株未満を切り捨てて表示しております。

大株主の状況

	[保有株式数]	[保有割合]
(有)コッコー	3,381千株	8.19%
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	2,316千株	5.61%
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	2,316千株	5.61%
古川國久	2,008千株	4.86%
古川幸一郎	1,585千株	3.84%
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口9)	1,548千株	3.75%
春日興産合同会社	1,400千株	3.39%
ビービーエイチ マシユーズ アジア デイビッド ファンド	1,285千株	3.11%
増田貞満	1,232千株	2.98%
従業員持株会	963千株	2.33%

※ 株式数は、千株未満を切り捨てて表示しております。

株価・出来高の推移



株主メモ

事業年度 4月1日～3月31日
 期末配当金受領 3月31日
 株主確定日
 定時株主総会 毎年6月中
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
 特別口座の口座管理機関 住友信託銀行株式会社(旧 クリーンホスピタルサプライ(株)の株主様)
 みずほ信託銀行株式会社(旧 セトラリュニの株主様)
 同連絡先 住友信託銀行株式会社 証券代行部
 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10
 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
 〒168-8507 東京都杉並区和泉2丁目8番4号
 上場証券取引所 東京証券取引所
 公告の方法 電子公告により行う
 公告掲載URL <http://www.shiphd.co.jp>
 (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、住友信託銀行並びにみずほ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記連絡先にお問い合わせください。株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行ではお手続きできませんので、ご注意ください。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

お問い合わせ・資料請求等は、下記まで…

シップヘルスケアホールディングス株式会社

〒565-0853 大阪府吹田市春日3丁目20番8号
 TEL : 06-6369-0130 (IR窓口) FAX : 06-6369-3191

URL (ホームページアドレス)

<http://www.shiphd.co.jp>



SHIP HEALTHCARE HOLDINGS